

■■■ 防災推進センター「木材利用シンポジウム」を開催しました ■■■

木材利用シンポジウム 2021 in 高知

～多様な木材利用によるネットゼロエミッションへの貢献を目指して～ を開催しました。

去る令和3年3月1日、高知城ホールとオンラインにて、高知大学防災推進センター主催による、「木材利用シンポジウム 2021in 高知 ～多様な木材利用によるネットゼロエミッションへの貢献を目指して～」が開催されました。本シンポジウムは、四国土木木材利用研究会、公益社団法人高知県土木施工管理技士会と共同で実施したものです。

シンポジウムでは、四国土木木材利用研究会会長で、高知大学防災推進センター原忠副センター長の挨拶に始まり、福井県工業技術センター建設技術研究部の久保光氏、福井工業高等専門学校教授の吉田雅徳氏、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所複合材料研究領域の宮武敦氏、同森林防災研究領域の玉井幸治氏より専門的立場から様々な報告がなされました。その後の総合討論では、研究会の初代会長で国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所の外崎真理雄氏が加わり、より専門的立場から様々な意見討論がなされ、豊富な森林資源を有する「こうち」から我が国の土木分野への木材利用の拡大を図るための考え方や展望を情報発信しました。

コロナ禍での開催でしたが、北海道、秋田、岩手、長野、福島、群馬、茨城、岐阜、千葉、東京、神奈川、愛知、福井、京都、兵庫、三重、愛媛、香川、徳島、福岡、鹿児島、宮崎、佐賀、高知など全国から総勢200名余りの方々の参加があり、関心の高さが伺えました。

